

ウポイ  
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK  
民族共生象徴空間令和6年1月19日  
函館開発建設部

## 受賞団体決定！「わが村は美しくー北海道」運動 ～函館ブロックからは優秀賞1団体、奨励賞2団体が決定～

北海道開発局は、「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクールを開催し、選考の結果、全道63団体（56市町村）の応募の中から、農山漁村における地域の活性化や、個性的で魅力ある地域づくりの優れた活動として、優秀賞12団体、奨励賞18団体を表彰することを決定しました。

このコンクールは、自然的・社会的・歴史的に特徴のある景観を形成してきた北海道の農山漁村が、より「美しく」あるため、地域の魅力と活力を高めようとする住民主体の活動を見だし、これを広く発信し、波及させていくことによって農山漁村の振興に寄与することを目指し、平成13年から、2年に1度開催しています。

今回は、全道10のブロックごとの審査により、各ブロックから選定された団体（優秀賞12団体、奨励賞18団体）を表彰します。

なお、優秀賞の中から、来年度（令和6年度）の大賞審査により、第11回コンクールの大賞を決定します。

函館ブロックでは、6団体の応募の中から、優秀賞1団体、奨励賞2団体を表彰します。表彰式は、各受賞団体を訪問し行う予定です。

- 1 「わが村は美しくー北海道」運動の概要について 【別紙1】
- 2 第11回コンクールの概要について 【別紙2】
- 3 函館ブロックの受賞団体の活動概要について 【別紙3】
  - 【優秀賞】にじいろファーム（七飯町）
  - 【奨励賞】ハコダテフィッシャーマンズ（函館市）
  - 【奨励賞】一般社団法人福島町まちづくり工房（福島町）

「わが村は美しくー北海道」運動の情報は、以下のホームページに掲載しています。  
[https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou\\_sin/ud49g700000emhm.html](https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g700000emhm.html)



【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 函館開発建設部

土地改良情報対策官 佐藤 修（電話 0138-42-7656）

土地改良情報対策官付 石田 直美（電話 0138-42-7656）



函館開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/hk/>

# 「わが村は美しく —北海道」運動 とは？



## Point

- 北海道の農林水産業をより豊かにすることを目指し、平成13年にスタート
- 道内各地で地域資源を活用して地域を活性化しようとする住民主体の活動に対する支援



### 「景観」の形成

【景観】  
地域の特色を活かし、生活と生産に根ざした景観形成活動

## 魅力ある活気に満ちた 北海道

【人の交流】  
地域の魅力を高めるコミュニティづくりに結びつく都市及び地域内外の人たちとの交流活動

### 「地域特産物」のブランド化

【地域特産物】  
地域で生産される農林水産物及びそれらを主として利用した加工品の生産販売活動

### 活発な「人の交流」づくり

- **参加しよう**—中心となるのは、**地域に住む人々** 「地域の資源」を見つけよう
- **広げよう**—活動の輪を大きく、自由に 地域の個性を競い合い高め合い
- **伝えよう**—北海道の「いいもの」を、もっと外へ 地域住民の努力と行動に光をあて、広く伝えよう

## 取組

- コンクールの開催 ← 「地域資源」を見つけ、「いいもの」を多くの人に伝えます
- 地域の魅力を高めようとする地域住民の活動をさらに広く伝えて、その活動を支援し波及させます

### 第11回「わが村」運動 コンクール

地域住民の活動を支援する一環として、地域で活動する団体を対象にコンクールを開催しています

活動団体

現地調査  
優秀賞・奨励賞の選考

表彰式

大賞の選考

大賞表彰式

### 第10回コンクール 大賞受賞団体

R5年度



北のなのはな会【安平町】

R6年度



ほんべつ豆まかナイト  
実行委員会【本別町】

### 多くの人に伝えるための取組

- HPへ掲載 [https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/nou\\_ein/ud49g700000emhm.html](https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/nou_ein/ud49g700000emhm.html)

→活動団体の最新情報を広く発信

- メールマガジンの配信

→活動団体への情報提供  
→活動団体の最新情報を発信

- JR北海道の車内誌

→「The JR Hokkaido」への掲載  
(JR北海道の協力)

- 地域イベントで活動PR

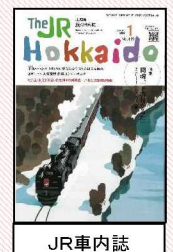
→地域イベントに参加し  
団体活動を紹介

- パネル展でPR

(北洋銀行との連携)

- Facebook(フェイスブック)の取組

→活動団体の最新情報を広く発信



JR車内誌



札幌大通でのパネル展

Facebookはこちらの  
QRコードからご覧頂けます。





令和6年1月19日  
北海道開発局

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクールの受賞団体を決定  
～農山漁村地域の活性化に貢献する活動を応援しています～

「わが村は美しくー北海道」運動では、平成13年から2年に1度コンクールを開催しており、今回で11回目となります。

第11回コンクールには全道から63件（団体）の応募があり、審査の結果、優れた活動として優秀賞12団体、奨励賞18団体を表彰することとしました。

表彰式は、本日以降、随時、受賞団体の応募先である各開発建設部において行う予定ですので、詳細については、該当する開発建設部土地改良情報対策官にお問い合わせください。

## ○第11回コンクールの概要について

### 1. コンクールの応募状況等について

#### (1) 応募件数

全道56市町村から63件（団体）の応募

#### (2) 審査経過

▶令和5年1月～令和5年6月：募集

▶令和5年7月～10月：全道10ブロック※での現地調査  
（ブロック審査委員会による全応募団体の調査）

▶令和5年7月～11月：ブロック審査委員会での審査  
（現地調査の結果から受賞団体を選考）

※各開発建設部の所管を1ブロックとしている。

### 2. 受賞団体について

#### (1) 優秀賞※（北海道開発局長表彰） [12団体]

※優秀賞：ブロック審査により、活動が優秀と認められた団体を選定。

- ▶ 特定非営利活動法人 山のない北村の輝き（岩見沢市）
- ▶ 元気村・夢の農村塾（深川市、妹背牛町、沼田町、北竜町、秩父別町）
- ▶ にじいろファーム（七飯町）
- ▶ 美国・美しい海づくり協議会/余別・海HUGくみたい（積丹町）
- ▶ 名寄市立大学援農ボランティアの会（名寄市）
- ▶ ニサナイ大地の会（むかわ町）
- ▶ 北海道中標津農業高等学校 マネージメント研究班（中標津町）
- ▶ 北海道帯広農業高等学校 食品科学科 地域資源活用分会（帯広市）
- ▶ ピロロツーリズム推進協議会（広尾町）
- ▶ 合同会社 びほろ笑顔プロジェクト（美幌町）
- ▶ フレッシュ市場「花菜夢」（遠別町）
- ▶ 社会福祉法人稚内市社会福祉事業団 就労継続支援B型事業所 稚内市北光園（稚内市）  
（受賞団体名は順不同です）

## 【別紙2】

### (2) 奨励賞※（各開発建設部長表彰） [ 18 団体 ]

※奨励賞：ブロック審査により、将来性や継続性から奨励すると認められた団体を選定。

#### ◇札幌ブロック [ 3 団体 ]

- ・沼田町産直グループ 愛菜ママ（沼田町）
- ・疏水ほっかい愛護連絡協議会（岩見沢市）
- ・一般社団法人 恵庭青年会議所（えにわハッピーハロウィン実行委員会）  
（恵庭市）

#### ◇函館ブロック [ 2 団体 ]

- ・ハコダテフィッシャーマンズ（函館市）
- ・一般社団法人 福島町まちづくり工房（福島町）

#### ◇小樽ブロック [ 1 団体 ]

- ・しりべし女子会（後志管内）

#### ◇旭川ブロック [ 2 団体 ]

- ・辰巳農園（上川町）
- ・JA ふらの女性大学（富良野市、上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村）

#### ◇室蘭ブロック [ 2 団体 ]

- ・壮瞥町オロフレ地熱利用野菜組合（壮瞥町）
- ・合同会社 自然農業社（壮瞥町）

#### ◇釧路ブロック [ 1 団体 ]

- ・みんなの景観なかしべつプロジェクト（中標津町）

#### ◇帯広ブロック [ 3 団体 ]

- ・株式会社 地恵贈（池田町）
- ・北海道本別高等学校 豆乳クレンジングジェル班（本別町）
- ・北海道士幌高等学校 乳加工専攻班（士幌町）

#### ◇網走ブロック [ 2 団体 ]

- ・株式会社 滝上町和ハッカ・ラボ（滝上町）
- ・つべつ豆のわ！！プロジェクト（津別町）

#### ◇留萌ブロック [ 1 団体 ]

- ・乳製品加工研究会「美留来のゆめ」（天塩町、幌延町、遠別町）

#### ◇稚内ブロック [ 1 団体 ]

- ・北海道豊富高等学校ボランティア部（豊富町）

（受賞団体名は順不同です）



優秀賞



新鮮野菜と笑顔でお待ちしています

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体  
にじいろファーム

【七飯町】

農業のすばらしさ、楽しさ、やりがいを伝えたい！

【はじまりは？】

家庭菜園をきっかけに野菜作りに魅力を感じ、もっといろいろな野菜を作って、たくさんの人に食べてもらいたいと思うようになり、新規就農を目指しました。相談した町役場から紹介を受けた農家さんの元で研修を受けて2020年4月に独立、「にじのように色とりどりの新鮮な美味しい野菜を皆様にお届けしたい！」という思いから名前を「にじいろファーム」にしました。

【おもな活動】

自分たちの農園では、七飯町を代表する白かぶ、人参、大根、長ネギを含めた約40品目の野菜を栽培しています。

毎年全国各地から修学旅行生の農業体験を受け入れています。次世代の子どもたちに七飯町の農業の魅力伝えるため、地元中学生の職場体験も実施しています。

就労支援事業所と農福連携にも取り組んでおり、農業に携わることで少しでもやりがい、生きがいを感じてくれたら良いと思っています。



修学旅行生の「白かぶ」収穫体験

【ここが自慢】

【美味しい食べ方もご紹介します】

直売所では農家約30軒と協力して山菜、果物などを含めて年間約150種類を販売しています。時期や収穫状況に応じて野菜の詰め放題も楽しめます。

近郊で開催されるイベントにも積極的に参加して、お客さんとの会話を大事にしています。

ちょっと珍しい野菜の紹介や食べ方のレシピなどで、より七飯の野菜の魅力を知ってもらうため、店内にはポップを作って伝えています。



店内いっぱい新鮮野菜が並ぶ

連絡先

代表者名：西山健児さん／設立：2020年／会員：50名

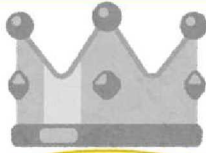
住所：北海道亀田郡七飯町桜町37-1

電話番号：070-4002-5623（営業期間中のみ）

F A X :

E-mail :

URL : <https://www.facebook.com/nijirofarm.4783/>



奨励賞

函館市



漁業者が自ら販売する初めてのマルシェを開催

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体  
ハコダテフィッシャーメンズ

【函館市】

漁業のかっこよさを伝えたい

【はじまりは？】

魚ばなれが叫ばれるなか、息子に「パパが捕った魚はどこで売ってるの？」と聞かれて答えることができませんでした。地元の海産物のことや、それを捕った漁師のこと、漁業の現状などをもっと市民に知ってもらいたい、そして地元を盛り上げたいとの思いから、「マルシェをやっちゃおう！」と思い立ったのが始まりです。

若手漁師4人で『ハコダテフィッシャーメンズ』を結成し、2021年2月に自分が捕った魚を持ち寄って「フィッシャーメンズマルシェ」を開催。自分が捕った魚に初めて自分で値段を付けて、直接売ることができました。

【おもな活動】

団体・企業等と連携してイベント等を仕掛けています。新幹線で大宮まで魚を運んだ「函館物産展」や水産会社とコラボしてマルシェ等に参加しています。

また、型が小さい、知名度が低いなどの理由で流通ルートに乗らない未利用魚に着目した商品化等も展開中です。



「未利用魚プロジェクト」のメンバー

【ここが自慢】

【“仕組み”を作って漁業を盛り上げる】

地域を活性化するために町会と一緒にできることは、食のイベントを開くことだと思い、町会単位でのマルシェを企画・開催しています。この活動をきっかけに、町会が独自に魚や野菜を仕入れてマルシェやイベントを開催したり、町会同士の結びつきも生まれています。

漁師自らが現状を発信し、周りを巻き込むことで、まちを盛り上げ、産業全体を元気にすることができると信じています。



町会単位でのマルシェの開催

連絡先

代表者名：熊木祥哲さん／設立：2020年／会員：4名

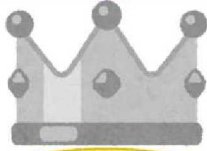
住所：函館市豊川町27番6号  
函館市漁業協同組合青年部気付

電話番号：0138-23-3195（函館市漁業協同組合）

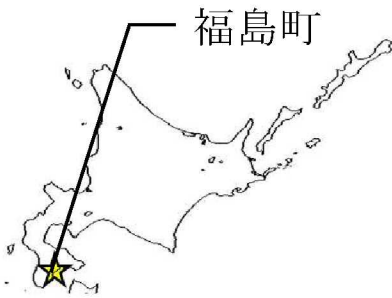
F A X：0138-22-3051（函館市漁業協同組合）

E-mail：

U R L：



奨励賞



企業とのコラボで地域特産品を使った商品開発

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体  
 一般社団法人福島町まちづくり工房  
**【福島町】**

多種多様な事業展開で町の活性化！

**【はじまりは？】**

2016年に福島町と町民有志の共同出資で立ち上げました。過疎化が著しい福島町の未来を見据えて、公共施設管理、クルーズ事業、物品開発・販売事業による全体的な町のPRを目的とし「町の活性化」「町と人を創る」「雇用の創出」を理念としています。

**【おもな活動】**

- ・公共施設「吉岡温泉ゆとらぎ館」の指定管理。
- ・観光クルーズ船「岩部クルーズ」の運行は、南北海道で最も予約の取れないアクティビティとして人気が高く、住民が2世帯の町内岩部地区を年間数千人が訪れる場所にしました。
- ・物品開発・販売事業：町内農林水産業の関係団体と連携して、新商品の開発、特産品の消費拡大や商品PR、商品力のアップ（パッケージデザイン制作等）、商品写真の撮影等における課題の解決に向けて取り組んでいます。
- ・観光ポスターの作成やインターネットを通じたSNSでの情報発信を展開しています。



圧倒的な大自然「夏の岩部海岸」

**【ここが自慢】**

**【栄養満点の黒米とエゾシカの利活用】**

福島町の特産品の1つ「黒米」。毎年、田植えと稲刈りは地元小学校の体験授業にも取り入れられ、給食で提供されることで郷土愛が育まれています。食べ切りサイズの「黒米ちゃん」はリピーターを生むヒット商品です。

地域のハンターと連携して、有害鳥獣として駆除される「エゾシカ」の肉を犬用おやつに加工しています。角を利活用したキャンプギアブランド「The Dears(ザ ディアーズ)」を立ち上げました。



「黒米ちゃん」



黒米の田植え体験

**連絡先**

代表者名：平野 松寿さん／設立：2016年／会員：34名

住所：松前郡福島町字福島820番地 福島町役場2階

電話番号：0139-46-7822

F A X：0139-47-4504

E-mail：info@iwabecruise.com

U R L：https://iwabenobaiten.com